
ALPS Micro Dry™ CopyStudio Ver 1.3 for Windows
および TWAIN ドライバ Ver 1.31 のご使用にあたって

これは、MD-4000J用カラーコピーアプリケーション CopyStudio 及び MD-4000J用スキャナドライバに関する説明です。MD-4000Jのご使用にあたり、必ずお読みください。

【CopyStudio とは】

CopyStudio は、MD-4000J から取り込んだ画像を印刷したり、画像ファイルに保存したりするためのアプリケーションです。CopyStudio と MD-4000J を組み合わせることで、画像の取り込み、コピー印刷、ファイル保存の操作がすぐにお楽しみいただけます。

CopyStudio の基本的な機能は、以下のとおりです。

基本機能

- 1) 画像の読み込みと印刷 (簡易 Copy 機能)
- 2) 画像の読み込みと画像ファイルとしての保存
- 3) 保存してある画像の読み込みとその印刷 (Ver1.1d から追加された機能)

Copy モード時オプション

- 1) 縮小拡大 (25%~800% ,印刷データに対してのみ有効)
- 2) センタリング、印字エリアへの自動フィッティング
- 3) 分割拡大印刷 (2分割、4分割、8分割 [A4 サイズ 8分割印刷で最大 A1 サイズ相当])

スキャナ機能

- 1) フルカラー (1600 万色)、256 色、グレースケール、白黒2値
- 2) 取り込み解像度、600dpi,300dpi,150dpi,75dpi
- 3) 各種調整機能 [濃度、シャープネス、紙厚調整、カラーバランス]
- 4) MDプリンタ用カラーキャリブレーション *1

注*1: MDプリンタへ印刷した場合に印刷結果の色合いをより自然な色合いに近づけます。

【TWAIN ドライバについて】

CopyStudio は、TWAIN ドライバと組み合わせて機能します。もちろん、他のアプリケーションからもこの TWAIN ドライバを経由して、MD-4000J を通常のスキャナと同じように利用することが可能です。

【CopyStudio / TWAIN ドライバ ご使用に関する注意】

- 1) CopyStudio は MD-4000J 専用のカラーコピーアプリケーションです。他のスキャナと組み合わせてもコピー機能はご利用になれません。
- 2) CopyStudio をご使用になる場合はハードディスクの空き容量が十分あることを確認してください。 A4 フルサイズを 600dpi フルカラーで取り込むと、データサイズが 100MB 以上になり、作業エリアを含めると 200MB 以上のハードディスクを要求されます。通常は "300dpi" 解像度でご使用になることをお勧めします。
- 3) 256 色取り込みモードは、フルカラーで取り込んだ内容を減色演算処理して実現していますので、フルカラー取り込みモードよりも処理時間がかかります。通常はフルカラー取り込みモードをご利用ください。
- 4) プリンタドライバにカラーキャリブレーション機能がある場合や、取り込んだ画像をファイルに保存する場合は、TWAIN ドライバの [画像調整] - [キャリブレーション] の設定は、[スクリーン] を選択してください。
- 5) 一部のアプリケーションから TWAIN ドライバ経由で画像を取り込んだ場合、16M バイト以上の画像が取り込めない場合があります。そのような場合は取り込み解像度を落とすか、CopyStudio 経由でファイルに保存してからご利用ください。
- 6) OCR ソフトで白黒画像を読み込んだ際、文字がかすれて認識率が悪くなる場合があります。このようなときは、[画像調整]-[カラーバランス]-[濃度補正]を、1.0 前後に設定し直してください。用紙の白さなども認識率に影響するため、何度か試し読みして認識率が最も高くなる濃度に設定することをお勧めします。

【キャリブレーション機能の設定に関して】

Micro Dry™ Scanner TWAIN ドライバのキャリブレーション設定は、デフォルトで [スクリーン] (キャリブレーション無し) に設定されます。

次のような場合は、TWAINドライバのカラーキャリブレーションは「スクリーン」のままでご使用ください。

- 1) プリンタドライバのカラーキャリブレーション機能(MicroDry[™] プリンタドライバの例では[イメージ調整]で[カラーマッチ]の機能)を有効にして印刷を行う場合。
- 2) 取り込み内容をファイルに保存したり、他のアプリケーションから利用する場合。

• Micro Dry[™] Scanner TWAINドライバのキャリブレーション設定と、プリンタドライバのキャリブレーション機能(カラーマッチ機能)を同時に有効にした場合、キャリブレーションは正しく機能しなくなりますのでご注意ください。

【バージョンアップ情報】

● Windows 版 TWAIN ドライバ Ver1.31 にて改善された点

- 1) 256色取り込みモード時に取り込み画像の縦横比が正しくない場合がある点を改善しました。

● Windows 版 CopyStudio バージョン 1.3/TWAIN ドライバ Ver1.30 にて改善された点

- 1) 256色の画質を向上しました。(システムパレットによる誤差拡散方式)
- 2) ECPモードに設定されたコンピュータで8bit通信設定ができない場合がある点を改善しました。
- 3) 富士通社製「マイアルバム」、NEC社製「アルバム工房」、アスキーシステム社製「SuperKid 95」においてTWAIN読み込み時にエラーが発生する点を改善しました。

● Windows 版 CopyStudio バージョン 1.1d/TWAIN ドライバ Ver1.2 にて改善された点

- 1) Thunker を標準で装備したため、TWAIN32対応のアプリケーションからもTWAINドライバーをご利用いただけるようになりました。
- 2) CopyStudioに"ファイルからプリンタへ出力"の機能を追加しました。この機能によって一度ファイルへ取り込んだ画像を何度も印刷したり、アプリケーションで作成した画像を2、4、8枚へ分割・拡大して印刷することが可能となりました。
- 3) 「スキャナからプリンタへ出力」する際に、印刷用紙の挿入を容易にするために、「用紙挿入ガイダンス」を追加しました。不要の場合は、環境設定にて表示しないよう設定を変更してください。
- 4) キズ、ムラの除去機能を独立させました。キズの除去は取り込み画像のモアレ(縞模様)等に有効ですので印刷物を取り込んでモアレがひどいときにお試しください。

【アプリケーションについて】

アプリケーションによっては、Micro Dry[™] Scanner を使用して画像を取り込む際に問題が起こることがあります。しかし、いくつかのアプリケーションでは、最新のバージョンに於いて以前にあった問題のいくつかが解決されてきています。必ず最新バージョンのアプリケーションを使用するようにしてください。

本ドライバリリース時点で確認されているアプリケーション情報を下記にご案内します。

• Windows アプリケーション情報

- 1) エー・アイ・ソフト株式会社製「読ん de ココ Ver.3」をWindows 3.1環境においてインストールした場合、Micro Dry[™] スキャナドライバは正しく動作しなくなります。CopyStudioを再インストールすれば、スキャナドライバは動作しますが、Windows 3.1環境では「読ん de ココ Ver.3」からのTWAIN読み込みは使用できません。CopyStudioからファイルに保存した後、「読ん de ココ Ver.3」にイメージファイルとして読み込んでご利用ください。
Windows 95であれば「読ん de ココ Ver.3」からMicro Dry[™] スキャナドライバをご利用いただけます。
- 2) エー・アイ・ソフト株式会社製「EasyFaxPro32」は、200dpiスキャナを対象としたイメージ取り込みのみ対応しているため、Micro Dry[™] スキャナドライバから直接取り込むことはできません。CopyStudioからファイルに保存した画像を、「EasyFaxPro32」にイメージファイルとして読み込んでください。
- 3) 株式会社リコー製デジタルカメラ画像取り込みソフト「DU-2 for Windows」をご使用の場合、複数画像を1ページにレイアウトして印刷する機能において正しく印刷できない場合があります。リコー社より修正モジュールがインターネットに掲載されていますので、こちらをダウンロードしてご利用ください。
(URL= <http://www.rieco.co.jp/dc/driver/index.html>)

【トラブル対策】

コピースタジオが正しく起動できない場合

Windows のシステムの中に CTL3DV2.DLL というファイルを使用するアプリケーションがインストールされている場合、そのバージョンが古いと CopyStudio のコピー及び応用コピーが正しく動作しない場合があります。このような場合は、以下の処置を行ってください。

- ファイルマネージャーまたはエクスプローラーを使用して、Windows 及び WINDOWS\SYSTEM 内に存在する全ての CTL3DV2.DLL を CTL3DV2.OLD にリネームします。その後、あらためて CopyStudio をインストールしてください。
- 一部の常駐型アプリケーションが CTL3DV2.DLL を使用している場合、エクスプローラーからリネームできない場合があります。その場合は、Windows を終了して DOS モードに移ってから (Windows 95 の場合は、[MS-DOS モードでコンピュータを再起動する]を実行した後) CTL3DV2.DLL をリネームまたは削除してください。その後、Windows を再起動してから、あらためて CopyStudio をインストールしてください。

Micro Dry-および MD-4000J、スキャプリアはアルプス電気株式会社の商標です。
Windows は、米国 Microsoft Corporation の商標です。
その他の会社名、商品名は該当各社の商標、登録商標です。

アルプス電気株式会社の許可なく本文の一部又は全部を転写並びに複製することを禁止します。

1997年7月 アルプス電気株式会社